

かまくら歴史まちづくり
ワールド・カフェ
実施報告書

平成26年11月
鎌倉市



目 次

1 「かまくら歴史まちづくりワールド・カフェ」について・・・・・・・・・・	1
2 意見のまとめ・・・・・・・・・・	3
3 参考資料・・・・・・・・・・	23

1 「かまくら歴史まちづくりワールド・カフェ」について

(1) 目的

「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録については、昨年日本国がユネスコへの推薦を取り下げることとなりました。この推薦取下げは、「鎌倉」の世界遺産登録の道を残すために決断したのですが、ただ単に再推薦・登録を目指すのではなく、もう一度鎌倉市におけるまちづくりの原点に立ち返り、先ずは、まちが抱える諸課題の解決を図る取り組みを進めることとしました。

そのためには、これまで以上に市民の皆様と行政とが一丸となって、歴史的遺産と人々が共生するまちづくりに向けた取り組みを進める必要があります。その実現のためには、鎌倉の魅力や価値を皆で共有することが重要であると言えます。

今回のワールド・カフェは、市の進める歴史まちづくりについて周知を行うと共に、ご参加いただいた方々が鎌倉の魅力を再発見し、どうすればその魅力を守り、後世に残していくことができるかということについて考えていただくために実施しました。

(2) 実施方法

今回は「ワールド・カフェ」という手法により、鎌倉が持つ魅力や価値を参加者で共有・再認識しました。ワールド・カフェとは、話し合いの場をカフェテーブルのような小グループに分け、度々メンバー交換をすることによって、参加者全員が知識や考えを共有し、多様な意見の創出を期待する手法です。

(3) 実施概要

ア 日時等

- ・ 実施日：平成26年11月15日（土）
- ・ 実施場所：浄智寺 書院
- ・ 実施時間：9:00～12:00
- ・ 募集方法：無作為抽出した市民1000人へ開催通知を送付し、参加者を募集した（その後、若干名の一般募集を行った。（募集総数36名））

イ 進め方

- ・ 冒頭、事務局より鎌倉の歴史まちづくりの概要のほか、ワールド・カフェの手法及び進め方について説明を行いました。
- ・ 今回は、参加者5人程度で1つのグループを形成し、1テーマにつき、30分程度の意見交換（これを1ラウンドとする）を行いました。
- ・ テーマは全部で3つとし、1ラウンドごとに席替えをして、合計3ラウンドの意見交換を行いました。
- ・ 参加者は、あらかじめ用意したフセンや白地図に自分の意見を書き止め、意見交換に必要な情報を「見える化」しました。
- ・ 全ラウンド終了後、第1～3ラウンドを通じて印象に残った内容等を他の全員で共有するため、グループごとに発表を行いました。

ウ テーマ

今回のワールド・カフェでは、次のとおりラウンドごとの個別テーマを設けました。

- ① 「鎌倉らしい」と思う伝統的な行事や活動と言えば、何でしょう。
- ② 市内において「守っていききたい風情・趣のある場所」は何処でしょうか。
- ③ ①や②を守っていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

エ スケジュール

累計時間	所要時間	内 容
0:00	0:30	はじまりの挨拶 鎌倉の歴史まちづくりの概要 ワールド・カフェの進め方について
0:30	0:30	【ラウンド1】
1:00	0:30	【ラウンド2】
1:30	0:10	休 憩
1:40	0:30	【ラウンド3】
2:10	0:50	まとめ (10分) 発 表・講 評(36分) 閉 会 (4分)

オ 意見の活用方法

今回のワールド・カフェで出た意見については、市が検討を進めている「歴史的風致維持向上計画」を検討する上での一助とします。

2 意見のまとめ（次ページ以降）

- ・ 白地図とフセンに書き込まれた意見を集計し、次ページ以降に原文を転記しました。
- ・ グループごとの発表と併せて、アドバイザーである赤松加寿江先生からの講評の要旨をまとめました。

テーブル A 報告

《第1ラウンド》

「鎌倉らしい」と思う伝統的な行事や活動と言えば、何でしょう。

- 御霊神社 面掛行列
- 鎌倉花火大会、水中花火
- 坐禅（禅文化）、心・文化
- 円覚寺、北野神社、おみこしにさらしを巻く
- 例大祭 やぶさめ、流鏝馬、たきぎのう
- ビーチクリーン
- 大はらい 12/31、初詣
- 五所神社のお祭り、みこしが海に
- 鎌倉彫り



《第2ラウンド》

市内において「守っていききたい風情・趣のある場所」は何処でしょう。

- 文学館の庭
- ハイキングコース
- 化粧坂 etc、切り通し
- 鎌倉高校前からの景色
- 山・海、お寺から見た海とか
- 鎌倉の文化、昔からのお寺、五山
- 四季
- 拝観料高い、市民には優遇してもいいのでは
- 朝比奈切通し
- 空き家対策
- 鎌足神社（鎌倉のいわれ）
- せみの声（外国人にとってめずらしい）
- 海・漁港・魚
- 歩いて見ると良い（バス、車ではなく）



《第3ラウンド》

1、2 を守っていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

- アクセスが悪い、駐車場が少ない、道路、歩きタバコ NG、タバコ、喫煙所
- 市・地域活動を盛り上げよう
- 切通しの保全
- 若い住民も行事に参加するような取り組み
- 1 軒で 1 人出なきゃいけないので面掛行列は良い
- 市民が出来ること限度ある+市・県、観光客への呼びかけ、ごみ問題
- 若い住民も行事に参加するような取組

まとめ

鎌倉は坐禅文化をもっと前面に押し出していくのが良いだろう。海、山、四季など自然の豊かさについては他のテーブルと共通の意見であった。「歩いてまわれる鎌倉」が進まないのは、車で来る人が多いにも関わらず駐車場が少ないというのも一因にあるので、国、市などに対策をしてもらう必要がある。観光客の増加によるゴミや喫煙場所の問題なども、市民自らがキャンペーンや呼びかけを行うなど、地域活動を盛り上げることと並行して、行政と両輪でやっていければ良いと思う。きれいな鎌倉に観光客を呼び込むためにも、空き家を減らし有効活用をするべきである。若い人たちが住みやすいような環境作りをすることが大切である。



▲ まとめの風景

きれいな鎌倉に観光客を呼び込むためにも、空き家を減らし有効活用をするべきである。若い人たちが住みやすいような環境作りをすることが大切である。



▲ テーブルAの発表

講評

禅文化を身近に感じることができるというのは鎌倉の特徴であり、大切にしていかなければならない文化であると思う。また、全国で課題となっている空家の有効活用についても取り上げていただき、よい所に目をつけていただいた。

アドバイザーの赤松加寿江先生による講評 ▶



テーブルB 報告

《第1ラウンド》

「鎌倉らしい」と思う伝統的な行事や活動と言えば、何でしょう。

- 行事：春・秋、やぶさめ、八幡様
- 段かつら、ちょうちん、春、大いちょう
- 海：花火大会
- 人：物静か
- 龍口寺（日蓮宗）お寺の祭り
エネルギー（見るだけでなく参加型）
- 花火、水中花火（今は他の場所からの人が多い）
- 面掛行列
- 鎌倉彫→小学校で体験（保護者向け）
- 3.11の震災に対する慰霊祭を兼ねて豆まき（建長寺 etc）
- 円覚寺→お寺 参拝だけでなく、ex.音楽家、假屋崎氏
- 建長寺→伝統だけでない、開放的
- 鎌倉と言えば！鶴岡八幡宮
→大イチョウ、鎌倉まつり、流鏝馬、桜、ちょうちん



《第2ラウンド》

市内において「守っていききたい風情・趣のある場所」は何処でしょう。

- 釈迦堂、衣張山、化粧坂→網を張ってしまった。崖が崩れる。
- 坐禅文化→場所と文化の mix
- ハイキングコース：獅子舞（瑞泉寺方面橋手前左）
- 玉縄城跡：市内の城
- 鎌倉文化：文学作品にも出てくる目に見えない風情
（円覚寺、芥川、椿原、立原正秋）
- 成就院からの景色
- 遺産：八幡様あたり？市民には関係ない→なるべき都市では？
建物、禅などの文化
- 大船：田園都市計画×→無理にやっても弊害があるのでは？
- トイレが少ないので増やしてほしい。
- 切通しを守って欲しい。名前も大切
- 切通しがあって道路が不自由だと思う。
- 長谷寺から海が見える景色
- 円覚寺、座禅、居士林
- 北鎌倉の駅前の雰囲気は良い
- 歴史を守るべき地域と人々の生活を便利にする、生活しやすいようにする
必要性
- 海からの風が通りやすいような道
- 海
- 獅子舞の滝 - 紅葉スポット
- 山・緑
- こじんまりした街だからこそその良さもある



- 天園ハイキングコース
- お寺

《第3ラウンド》

1、2 を守っていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

- 観光地として人が来れば栄える→でもその為になんでもできるか
- 住んでいけば→その碧を守りたい：自然、
→安全であって欲しい：交通事情
- 整備と場所の確保→折り合いが難しい
- 誰が守るのか？地域の人を守る。
- 今までは点→点でなく（お寺さん）→線になり＝ハイキングコースの利用
→混雑
- 切通し：開発してほしい→山道、自転車で行けるよう
- 道の整備：守りたい場所に行くにも
- トイレ：少し離れていても
- 寄附などのトラストはできる、でも守るのは地域の人それぞれ町内単位
- 新しい人に意識づけできるか？→守るべきものを守るはその場の人
- 切通（name、道）+name 大切に
- 開発しないと！（世界遺産とはかけ離れる）
- 市役所（開発はできない）
- 道、トイレ
- 道路整備
- 守るべきもの：trust 運動
- 街をきれいにする→自治会、住んでいる人が守る（行政が音頭）
- 地域の人地域を守る

まとめ

鎌倉には「不便な鎌倉を何とかして欲しい」という意見と「今の鎌倉が良い」という意見の両方が存在する。住民の生活もあるので、便利さと不便さの間でどのように折り合いをつけ、どこを守っていくのか、非常に難しいところであると思う。自分の住んでいるところと離れている場所については、トラスト運動などに寄附をして支えていくことは可能だが、実際にその場所をどのように良くし、守って行くかは、そこに住んでいる方々の意識にかかっているのではないか。開発すべきか守るべきかを考えるには、一部の人間での話し合いではなく、このような色々な方がいる場での話し合いの中からちょうどいい塩梅を見つけて行くことが必要である。



▲ まとめの風景



▲ テーブルBの発表

講 評

私たちは寺社によって企画、提供されている様々な場に参加することで鎌倉の歴史的な価値を共有できている。そういった点を線で繋いで面にしていくという事を、地域、まさに我々自身がやらねばならないということに話し合いを通じて気づくことができたという意見に、私も賛同する。通常の様々な話し合いの場では、似た意見の方が集まりがちだが、今回は色々な意見を持つ方が集まることができ、良い機会であったといえるのではないだろうか。

テーブルC 報告

《第1ラウンド》

「鎌倉らしい」と思う伝統的な行事や活動と言えば、何でしょう。

- 坂ノ下「面掛行列」 甘縄神社
- 海の家、花火大会
- 円覚寺「ぼん踊り」
- 建長寺「坐禅」
- 明月院「あじさい」
- 八幡宮の春と秋のお祭り
「流鏝馬」、「七夕」、「静の舞」、「ぼんぼり祭り」
- 段葛パレード（桜）
- 鎌倉宮「たきぎ能」
- 荏柄天神「かっぱの筆祭り」
- 市民運動会が活発（住民のまとまりが良い）
- 光明寺「お十夜」
- 鎌倉時代の武士の姿を
- 鎌倉みやげ
- ホームページ行事スケジュール表



《第2ラウンド》

市内において「守っていききたい風情・趣のある場所」は何処でしょう。

- ハイキングコース
- 台峰、中央公園などの緑地
H19年にうたわれた(?)「横須賀線沿いの北鎌倉ベルト」
→気が休まり、空気が清々しく、これぞ鎌倉の趣き。
- 東京から帰って来ると空気がおいしい、好々亭トンネル残す
- 観光
→分かりやすい地名：住んでいる人、観光客にも優しい
→風や自然を考えて昔ながらの（風を感じる）街作りを生かして
→高齢化⇔空き家
→観光案内の充実
- 鎌倉らしいお土産
- ハイキングコース：他の人に周知する
- 段葛を海まで続くように延長（過去のように戻してほしい）（昔は海に（海上に）鳥居があった）
- 趣のある場所
海：由比ヶ浜、稲村ヶ崎、七里ヶ浜
陸：段葛（海まで戻す）、道路は人中心に！、ハイキングコース

《第3ラウンド》

1、2を守っていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

- 歩いて周れる鎌倉、ハイキングだけでなく、街も！→災害対策
- スパンによる観光コースの提案（2日コース、3日コースなど）
- 若宮大路は海まであって若宮大路
- 海風の涼しさ→風の流れ
- 歴史を見直しての選定→それを考えた街づくりを残す！
- 地名、住所を近くのお寺・神社名を入れる
例）浄智寺〇〇番地
- 人の住む場所←観光と
- 若い人と芸術家：鎌倉移住→高齢化による空き家の有効活用
→宿泊用に使っては？→古民家風に
- 「地名」を住所に入れてみる 古い地名を残す「大町一丁目辻」

まとめ

最終的に「歩いてまわれる鎌倉」という言葉が非常に良いという意見にまとまった。その実現のためには、住んでいる人にも観光客にも、今居る場所がわかるように、住所表示を「大町何丁目辻」「浄智寺何番地」等、昔の地名とする方がよいのではないか。高齢化が進み空き家問題が発生している。鎌倉は宿泊施設が少ないので宿泊体験コースなど色々な形で活用したり、住民の若返りをはかるために、別荘文化が花開いた時代のように若い芸術家などを呼び戻し、若い住民を増やす活動をしてはどうか。また、昔は若宮大路が海まで続いており、海風の香りがする自然が感じられる道になっていた。このように、昔の鎌倉を改めて見直してはどうか。



▲ まとめの風景



▲ テーブルCの発表

講評

「歩いてまわれる鎌倉」は皆さんも納得できる面が多かったと思う。それに加え、旧地名の復活は新しいアイデアである。実際の住所表示にはできなくても、観光を楽しむために通称として昔の地名を呼び続けるというのは、鎌倉の一つのスタイルにできるのではないか。空き家をゲストハウスにするということは最近増えてきている。都市構造にも触れていただき、「風が通る道が作られている」というお話もいただいた。昔からの鎌倉の都市構造がいかに理にかなっているかを再確認できる。これをこれからどうやって守り生かして行くのかが課題だが、大事な部分を色々拾い上げて下さったと思う。

テーブルD 報告

《第1ラウンド》

「鎌倉らしい」と思う伝統的な行事や活動と言え、何でしょう。

- 西鎌倉：「龍口明神社」のお祭り（秋）おみこしなど
- 葛ヶ岡神社のお祭り（7～8月）
→脇道を若い方が通り、大変！
- 鎌倉花火大会（今年は7月23日）
※観光協会主催←市から移行
- 建長寺のお祭り（7/15～7/22）
建長寺開山忌（7/23～24）by 鎌倉カレンダー
- 半増坊のお祭り（節分の頃）
- 例大祭（鶴岡八幡宮）9/14～16 流鏝馬、七夕祭

《第2ラウンド》

市内において「守っていききたい風情・趣のある場所」は何処でしょう。

- 富士山：景観を守りたい
- 玉縄城跡
- 名所が点在＝ストーリーが繋がっていない
- 古戦場、寺、歴史的なものの残していない・・・
- 「長寿寺」の庭が素晴らしい！、杉苔
- 北条家家紋、禅の心、精神性もアピール→街と一体化
- 戦争供養：大船観音
- 深沢の大仏
- 玉縄
- 守時、泣塔、富見町→残していないギャップ
- 富士景観
- 古道
- かやぶき、田園風景
- 海
- 精神＝禅→死、古戦場、自然と一体、神社、寺郡
- 北鎌五山
- 半蔵坊全部
- 切り通し
- 二階堂
- 北条



《第3ラウンド》

1、2 を守っていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

- 武家の古都・鎌倉社会を体現するような場所や自然を保存していく！
- 新しい建物や電線が景観を邪魔しないような整備の仕方

- 四季を感じられる寺社を守るべき！
- 「古都保存法地区」＝「旧鎌倉」の規制は厳しいが他は甘い

まとめ

鎌倉の良さは、寺社と四季折々の自然が一体化しているところ、寺社で育まれた禅の精神や武士道の精神が培われているところ、寺社での祭りや文化を通して地域の交流があるところなどであろう。ただ、今はそれらが全体として繋がっておらず点と点という状況になっている。これらを繋ぐには、例えばハイキングコースなどの路上で歴史の背景を学び、鎌倉の良さを発見できるようにするなどの工夫が必要だろう。また、文化財は守られているが市街地では相反する近代的な建物が建っている。まち全体として街並みを守るには、行政は、電柱の地中化や土塀への変更に補助金を出すなどの取り組みが出来ると思うが、これら景観を守るには住んでいる方の協力が不可欠である。鎌倉の自然と精神を演出するようなまちづくりが必要であると思う。



▲ まとめの風景



▲ テーブルDの発表

講 評

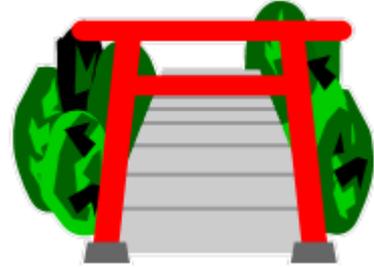
鎌倉の良さとして、寺社の文化をきっかけに地域住民が繋がっているが、それが地域に限定され、同じ鎌倉でも共有しきれていないというご指摘であったかと思う。祭りや寺社の文化を共有し、つなぐために、住民同士が地元のお祭りの話題を互いにできるような仕組みをつくること、またハイキングコースを通じて歴史と自然を一体的に体感できるものを評価していくことも大事だといえる。鎌倉の一番の難しさは、守るべきものがある一方、住みやすさを追求すると、それと相反する部分が生じてくるということである。「演出」という言葉がでてきたが、まさに鎌倉の自然と住民の精神を「演出」するようなつもりで、まちづくりをするという意識も重要かもしれない。単に保存することや、便利なように作るということではなく、我々の考えている大事なものはこういう在り方であるということ、客観的な目線で理解されるように演出する意識をもったまちづくりも一つの方法なのではなかろうか。

テーブルE 報告

《第1ラウンド》

「鎌倉らしい」と思う伝統的な行事や活動と言えば、何でしょう。

- エリア別に応援すべき
- 住環境が悪い
- 鎌倉のネームバリュー
- 物語とともに史跡をさぐれ
- 八幡宮：馬→流鏝馬→静御前の舞
- 鎌倉宮薪能
- 材木座：夜祭
- 花火 60～



《第2ラウンド》

市内において「守っていききたい風情・趣のある場所」は何処でしょう。

- 明治以降の文学の舞台：梶原まさあき、平山郁夫
- 佇まいが京都より良い、坐禅文化
- 釈迦堂、衣張山ハイキングコース、仮粧坂、獅子舞紅葉
- 龍宝寺、玉縄城：鎌倉市内唯一の城
- 源氏山、桔梗山
- 幕府＝三浦一族
- ハイキングコース＝紅葉
- 瑞泉寺
- 浄明寺
- 報国寺
- 衣張山
- 田園都市 マンホール残る
- 和賀江嶋：貿易港
- 円覚寺
- 建長寺
- 源氏山、化粧坂
- 極楽寺：忍性
- 龍宝寺 玉縄坂、玉縄城
- 富士塚：洲崎古戦場
- 古道：江の島



《第3ラウンド》

1、2 を守っていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

- 地域を絞って、幕府が入ってから終わりまでストーリーを
- 子供がきかれても（観光ガイド）覚えられる教育
- 歴史ストーリーをしっかりと案内し地域をしぼる
子供達への鎌倉の歴史教育

- 文化的発展、パークアンドライドの宣伝
- 歴史をたどれる＝限定 History 地域
- 観光者と生活者の共存
- 趣：文学、小説舞台：梶原まさあき、平山郁夫
- 四季感じられる
- 緊急車両、車の乗り入れ制限
- シニア料金
- 鎌倉良い街→外部、内部



まとめ

今日のテーマである「歴史的遺産と共生するまちづくり」を鎌倉市全体のこととして議論することが適切であるかは疑問である。旧鎌倉地域以外ではその恩恵にあずかることはない。しかし、鎌倉には歴史的遺産、守られるべき景観が随所にある。一方、観光客の増加による渋滞問題など、生活者の視点では様々な問題もある。世界に向かって鎌倉を発信するには、鎌倉市全体ではなく守る地域を限定すべきである。鎌倉は歴史のまちであり、歴史的なストーリーをまちの中で体験できるようにすることが重要である。特に鎌倉に住んでいる子供達に教育の場で歴史を理解する機会を作り、鎌倉を誇りに思えるようにすることが必要である。そのような取り組みから鎌倉というまちを残し、知ってもらおうということに繋げていくのがよい。

まとめの風景 ▶



▲ テーブルEの発表

講 評

歴史のまち鎌倉をプライドを持って子供達に伝えて行くことの大切さはその通りだ
と思う。また、歴史的なまちづくりを行う地域を絞るということも大事なことだろう。
生活者の目線も大事である。旧市街地以外の地域での市民生活の充実ということも並
行して考えていかなければならないだろう。

テーブルF 報告

《第1ラウンド》

「鎌倉らしい」と思う伝統的な行事や活動と言えば、何でしょう。

- 豆まき
- 江ノ電
- 花火大会
- 桜、花見、鎌倉山
- 中央公園の自然観察、広町緑地より多くの自然が残る
(市民の自然保存滑動)
- 除夜の鐘
- 長谷寺(ライトアップ、のみの市、写経)
- 海(海の家、海水浴、マリンスポーツ)
- ホタル狩り
中央公園の谷戸の池から流れる湿地(源氏、平家ホタル)
岩瀬の砂押川は圧巻です
- 宇賀神社
- 紫陽花
- 静の舞
- お正月シーズン、初詣
- 七五三
- 獅子舞、紅葉
- ホタル
- 余り関心は無いが、強いて言えば、報道や本で知っている
流鏝馬→娘の同級生が乗り、午なので
面掛行列(御霊神社)
- お十夜(光明寺)
- 各地から集まる団体(小学生の旅行、ハイキングクラブ等)の「ウォーキング」(その場所を市が提供していると考えたら良いのでは?)
- 北鎌倉駅近辺の緑を守る市民活動(洞門山など)



《第2ラウンド》

市内において「守っていききたい風情・趣のある場所」は何処でしょう。

- 江ノ島、富士山
- 桜のトンネル
- 雪の浄智寺
- 大仏
- 鶴岡八幡宮
- 七口(朝夷奈、名越、仮粧坂、大仏、亀ヶ谷、極楽寺、巨福呂坂)
- 鶴岡八幡宮、ハス池←手入れ、桜並木(夜桜)
- 朝夷奈切通、朝比奈切通し、塩の道
- 極楽寺トンネル
- 六国見山森林公園→富士山



- 段葛
- 江ノ島→夕陽

《第3ラウンド》

1、2を守っていくためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

- ゴミを持ち帰ってもらう
- 鎌倉市の規模＝市民が行政に参加しやすい
- 5年、10年先のビジョンを持って取り組む
- 子育ての環境を整える、若い世代がいなくならないように
- コンビニのゴミ・・・お弁当持参してもらう取り組みをしては？
- 行政と市民の協力、どちらか一方ではNG
- 市民も誇りを持って住める街づくり、人が大事
- 人が大事←地域コミュニティ活性化、人づくり、世代間の交流
- 市民サービス充実、図書館など
- ゴミを捨てないよう協力してもらう
- 名所の歴史やドラマチックな背景を伝える取り組みが必要では
→文学史おもしろい、切通
- トイレ増設、きれいなトイレ必要
- トイレが少ない
- 「鎌倉らしさ」を守って行く活動は大変です。時代が進む毎に“便利さ”を追い求める風潮は無視できず、伝統文化（建造物を含む）を“保守”することも大変です。この「二律背反」的命題を克服するには行政と市民が一体になるにはどうあれば良いのか様々な議論をする場が保障されることが大事だと思います。
- 名所をつなぐストーリーを伝える

まとめ

鎌倉の良さとしては自然の豊かさ、神社仏閣で行われる様々な行事などがある。文学史的にも面白いことがあるが、名所の歴史やドラマチックな背景を住民も知らず、観光客へ伝えられていないので、知ってもらうための取り組みが必要である。点を繋いでストーリーにする作業が大切である。観光の視点からはトイレの問題やゴミの問題がある。鎌倉が魅力的なまちになるためには行政と市民の協力が必要である。鎌倉市の規模は大都市圏よりも住民が参加しやすい規模であると思う。市民が誇りを持って住めるまちづくりをして行きたい。まちをつくるのは人であり、人づくりが大事である。人づくりには地域のコミュニティが大切なので、子育て環境を整えて若い世代を呼び込むなど、市民サービスを充実させて行くことが大切だと思う。目先のことだけではなく、5年先、10年先を考えた政策が必要である。



▲ まとめの風景



▲ テーブルFの発表

講評

多岐にわたることに触れていただいた。歴史的背景を伝える取り組みを進める必要があるとの意見があったが、これはまさに今、鎌倉市が進めていることであると思う。まとめて鎌倉のことを知ることが出来る資料館のようなものが需要であるということだと思う。市民と行政が関わりやすい規模とも仰っていたが、旧鎌倉に限って言えば、まさに「歩いてまわれる」規模なので、これからも中世の日本人が作ったちょうど良い規模を活かしていけるとよいだろう。人づくり、コミュニティづくりという視点では、このテーブルは最年少の若者(小学生)のいるテーブルでしたが、このような場にキッズがどんどん来て、大人の話聞いていけるといいのはとても良いことと思った。

3 感想 ※ () 内は記入者の地域、年代、性別

A テーブル

- とても楽しく過ごさせていただきました。今年3月迄、11年間鎌倉ガイド協会でご過ごしてきました。(腰越、70代、女性)
- 大変貴重な体験ができました。ありがとうございました。改めて、自分の住んでいる鎌倉について考え、行動をして行きたいと思いました。また、市・県など行政で行うイベントがあればぜひ参加してみたいと思っております。(大船、30代、女性)
- 鎌倉の良い所、問題点、共有する部分は同じと感じました。住民、行政とで良くしていければと思います。(鎌倉、40代、男性)
- ワールド・カフェは今後とも活動を拡大・発展させるべきだと思います。(地域住民の盛り上げが世界遺産登録に必要)(玉縄、70代、男性)

B テーブル

- どんな会になるのかドキドキでしたが、初対面の方とも共通の話題を持つとこんなに和やかに話せるというのがとても新鮮でした。鎌倉が変わらず(でも良い方向に変わって?)すばらしい場所であり続けて欲しいと思います。ありがとうございました。(鎌倉、50代、女性)
- 行政側の取り組みは担当課のみではなく、環境、土木などの方々の参加も必須。(腰越、70代、男性)
- とても充実した時間を過ごせました。このような機会を自分自身もまた持ちたいですし、1人でも多くの人に経験していただきたいと思いました。鎌倉歴史文化交流センター?の存在、気になります。(大船、30代、女性)
- 今日の題はどんなテーマかと思い出席しました。皆様のご意見勉強になりました。(大船、40代、女性(代理))

C テーブル

- 思いがけない会合に出席させていただき普段気になっていたことなど話し合わせていただき、楽しいひと時でございました。これからも大変とは思いますが、このような機会が増え、市民が意見を言い合える共通の市民意識を共有できたら良いと感じました。(鎌倉、70代、女性)
- 鎌倉の知らない一面を色々と知る良い機会になりました。また、皆が考えを持ち合っって良い街ができる予感がしました。(大船、30代、男性)
- 鎌倉市に越してきて2年目になります。越して来る前のイメージと実際に住んでみてのギャップが大きく、愕然とする毎日でしたが、今日このような集まりに参加して、とてもおもしろく楽しかったです。観光と生活圏としての鎌倉を両立するのは難しいと思いますが、やりがいのある取り組みだと思います。今後の鎌倉がどうな

っていくか期待しています。今日はとても勉強になりました。有難うございました。

(大船、30代、女性)

- こういう会議は必要である。1回で終わらせるのではなく、続けてください。(玉縄、70代、男性)
- いろいろな年代、地域にお住いの方の意見が聞けて勉強になりました。またこのような機会があったら参加させていただきたいです。段葛が海まで復活し、海上の鳥居も復活したら大変素晴らしいと思いました。もっと鎌倉を知りたいと思いました。皆さんの鎌倉に対する思いが素晴らしいと思いました。楽しかったです。ありがとうございました。(鎌倉、40代、女性)

Dテーブル

- 鎌倉の文化、自然を守っていききたい。(70代)
- 歴史や自然と共存する街づくりのあり方に大変興味があり、参加させていただきました。他県からの移住する方へのアピールもできるよう「鎌倉の魅力」を改めて再発見しつつ発信できたらと思います。(深沢、50代、女性)
- 日頃より環境他についての疑問等知らないことも多々あり、色々わかって大変意義ある時間を持つことができました。今後もこのような活動に参加していきたいと思っています。(鎌倉、60代、女性)
- 皆さん鎌倉への思いが強く、良くして行こうという思いが感じられました。私もより鎌倉への関心を強くしました。(腰越、30代、男性)

Eテーブル

- 昨年札幌から移住し、全くの異文化の中で暮らす驚きを楽しんでいます。ますます鎌倉にミリオクを感じています。たくさんの方々とお話できてありがたく、嬉しく思っています。不便だけど、不自由ではない暮らし。鎌倉住民一年生より。(鎌倉、50代、女性)
- 世界遺産に登録した後のビジョンを見たいですね。(玉縄、40代、男性)
- 文化的に、現代では海でヨガを行い等々のお寺では座禅を組み、ステキな街となりつつある鎌倉です。このような話し合いをたくさんもって、参加させて下さい。段葛を海まで再現していただけたら嬉しいです。(大船、60代、女性)
- 鎌倉の気を大切にして下さい!(鎌倉、40代、女性)
- 効果(成果)の程は分からぬが、初めての皆様と会話できたことは良かったと思う。(腰越、70代、男性)

Fテーブル

- 本日は多様性に富んだ皆さんとフラックにお話をさせていただき、貴重な時間となりました。ありがとうございます。(腰越、40代、女性)

- 鎌倉のことをもっと知り、守るような気になった気がします。こんな大きな事柄を少ない時間と一回だけでは分からないと思います。（鎌倉、70代、女性）
- 鎌倉のことが分かって良かったです。（腰越、10代、男性）
- 異なる世代の方々と自分の住む地域について語る機会は貴重でした。また参加したいです。（玉縄、30代、女性）
- 自然と歴史の息（活き）づく鎌倉を守り発展させる街作りのために、良い場所・機会を提供してくれてありがとうございました。（大船、70代、男性）

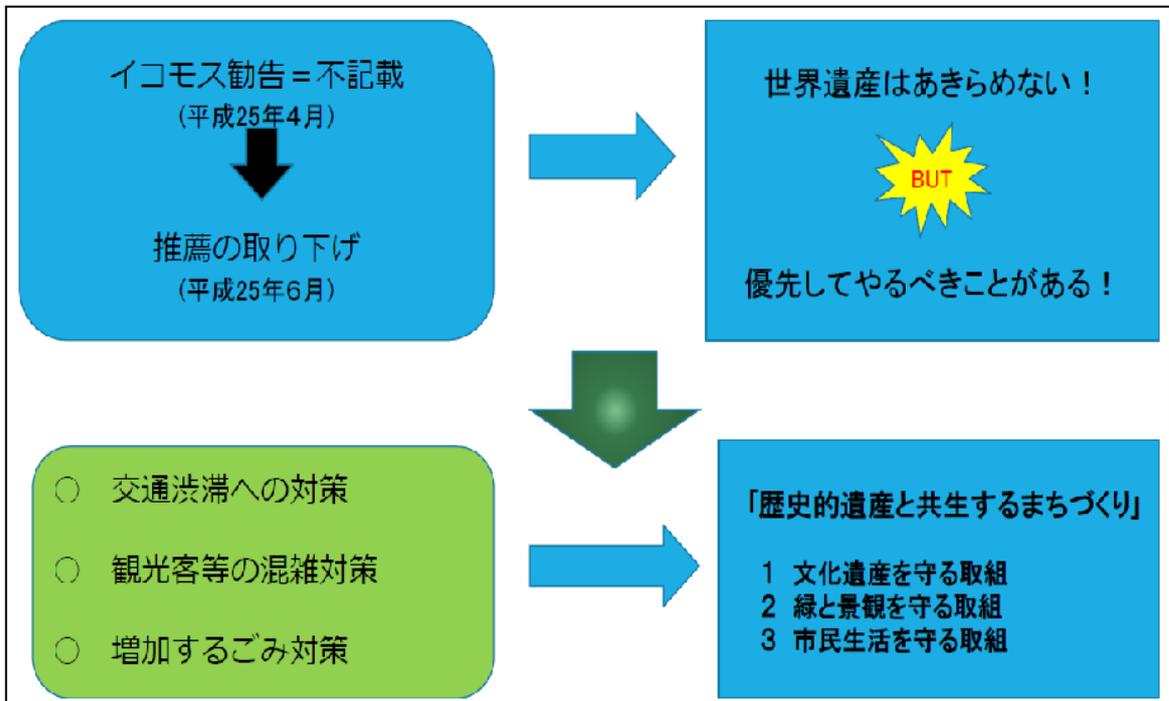
4 参考資料（事務局説明スライド）

1

鎌倉市歴史的風致維持向上計画
についての取組

平成26年11月15日
鎌倉市歴史まちづくり推進担当

2



鎌倉市としての具体的施策

1 「世界文化遺産への登録」と「歴史まちづくり法の活用」をパラレルに推進

=世界遺産登録に向けて当面は比較研究を中心とする基礎的研究を展開
 =「歴史まちづくり法」を活用し歴史的風致維持向上計画を策定

2 (仮称)鎌倉歴史文化交流センターの整備

=展示公開(地域学習)、情報発信、市民の文化交流の拠点

3 施策展開の基盤としての「文化財保護体制の強化」と「調査研究の充実」を推進

歴史まちづくり法の概要

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」(H20.5.23全会一致で成立、同年11.4施行)

【法の目的】歴史的風致の維持・向上を図るためのまちづくりを推進する地域の取組を国が積極的に支援することにより、個性豊かな地域社会の実現を図り、都市の健全な発展・文化の向上に寄与。

歴史的風致とは、城郭や社寺、史跡等の歴史上価値の高い建造物とその周辺の町家等の建築物、街道や水路等の土木施設等と、地域住民等によって保存されてきた産業、祭礼行事、民俗芸能等の伝統的な活動とが一体となって醸し出している歴史的な風情、情緒、佇まいといった良好な市街地の環境

基本方針(国が作成)

歴史的風致維持向上計画(市町村が作成)

- 歴史的風致の維持・向上に関する方針
- 重点区域の位置・区域
- 文化財の保存・活用に関する事項
- 歴史的風致維持向上施設の整備・管理に関する事項
- 歴史的風致形成建造物の指定方針等
- 計画期間等

国による認定

(文部科学大臣、
農林水産大臣、
国土交通大臣)

認定歴史的風致維持向上計画

重点的な支援

法律上の特例措置

- 歴史的建造物修理への技術的支援(法第21条)



事業による支援

- 社会資本整備総合交付金等(例)歴史的建造物の修理・買取



- 地域の実情に応じた景観規制(屋外広告物法第28条)



- (例)都市公園内の景観の復元

- 法定協議会による事業主体間の連携(法第11条)

国土交通省

歴史的風致の設定 歴史的風致の定義

歴史的風致とは
 ○法律における定義（歴史まちづくり法第1条）
 「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」

歴史的風致

1. 地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した「人々の活動」=人々の営み

⇔

2. その活動が行われる「歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地」

一体となって形成された良好な市街地の環境



➔



三町重要伝統的建造物群保存地区と高山祭（岐阜県高山市）

鎌倉市の歴史的風致を考える上でベースとなるもの

① 鎌倉時代以来の社寺

源頼朝が武家政権を樹立して以来、幕府を中心に盛んに建立された社寺は、現在もリビングヘリテージとして宗教活動を継続しており、社寺の存在自体が歴史的風致の形成基盤となっている。

② 地形(三方を山に囲まれ一方が海に開く要害的地形)を利した都市構造

幕府は、東・北・西の三方を取り巻く山稜部を城壁に見立て、内外を結ぶ陸上交通路である切通とそれらに連関する都市内部の道路網を整備し、交通の要衝には大寺院を配置するとともに平野部を市街地として整備した。鎌倉は、現在も往時の都市構造を踏襲しており、まちづくりを進める上での基盤となっている。

③ 江戸時代からの物見遊山に始まる周遊観光

江戸時代に入ると鎌倉は、江戸やその近郊の地域から武士や町人など多くの遊山客が訪れる観光地としての役割も担うようになった。

④ 近代以降の別荘文化

明治初期に海浜保養の適地とされた由比ガ浜の沿岸部では、上流階級と呼ばれる人々が多くの別荘を構え、明治22年（1889）の横須賀線開業以降は、華族や軍人、外国人などが、避暑・避寒に適したこの地に居を構えるようになり、別宅・本宅としての利用を問わず両者は「別荘族」とも呼ばれるようになり、別荘文化が発展した。

1

このスライドは、テーブル上に配付してあります。
グループ内で共有してご覧ください(持ち帰り不可)。

かまくら歴史まちづくり ワールド・カフェ

受付で指定された
テーブルの席に
おかけください。

談話中の
円滑な運営に
ご協力ください。



1

2

開催にあたって



鎌倉市には、寺社仏閣を始め、多くの歴史的遺産があります。これらと共生するまちづくりを進めていくことは、鎌倉市がめざしていることであると同時に、強く求められているものでもあります。

今回のワールド・カフェによって、鎌倉の歴史的遺産をもっと身近に感じ、ご自身の中で新しい発見をしていただければと思います。

2

3

ワールドカフェについて

話し合いの場において、カフェテーブルのような小グループに分けて、度々メンバー交換をすることにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法です。

今回のワールド・カフェでも、立場や年齢の垣根を越えて、井戸端会議の様なりラックスした状態で、自由に話し合っていただければと思います。



3

4

ワールド・カフェの進め方

グループごとに話し合い(ラウンド1) 約30分 席替えタイム ← 個別テーマ①

グループごとに話し合い(ラウンド2) 約30分 席替えタイム ← 個別テーマ②

グループごとに話し合い(ラウンド3) 約30分 ← 個別テーマ③

まとめ(10分程度)

発表(各班5分程度)
グループ内で出た意見を他のグループと共有します。

個別テーマはラウンド開始前に発表します!

4

5

談話室のエチケット

人の話をよく聴きましょう!

他の皆さんの発言を否定したり非難するのはやめましょう!

あなたの経験や考えを積極的に話しましょう!

テーマに意識を集中して話し合いましょう!

他の皆さんが平等に話せるように、話は短く簡潔に話すよう心がけましょう!

発言したことは横造紙にどんどん書き込みましょう!



5

6

白地図とふせんの使い方

思ったことや発言したことを、ふせんに自由に記入し、白地図に貼り付けてください。

- 白地図に直接書き込んでもOKです。
- ふせんに書き込んだ内容が特定の場所に関係する場合は、白地図の、その周辺地域に貼り付けてください。
- 自分が話したこと、他の方が話した内容で印象に残ったことなどを書いてください。(絵や図などを描いてもOKです。)
- ふせんの内容に関連性がある時は、近くに貼り付けるとあとで整理しやすいです。

発言者等の名前は書かなくて結構です。

※白地図はラウンド3まで同じものを使います!

6

7

ラウンド1の進め方

自己紹介からスタート!(約3分)
(一人30秒程度で簡潔に。)
(話したい人からどうぞ。)

個別テーマの発表

話し合いを自由に始めてください。

ふせん、白地図にも随時記入してください。



7

8

今日の全体テーマ

鎌倉の 歴史まちづくり



8

9

ラウンド1

個別テーマ① 30分

「鎌倉らしい」と思う伝統的な行事や活動と言えれば何ですか。

- 伝統的な行事や活動は、鎌倉市域内ならどこでもOKです。
- 「伝統的」とは、「古くから受け継がれているもの、長く続けられているもの(具体的な期間、年限は定めず、個人の感覚によるもの)」です。
- 「活動」とは、「人々の活発な動き、働き」です。

つまり、**鎌倉らしい『古くから受け継がれているまたは、長く続いている人々の活発な動きや働き』**について話し合ってください。

- なぜそれが「鎌倉らしい」と思うかについても意見交換してください。

9

10

席替えタイム(1回目) 3分

皆さんの話し合いをさらに広げるために、席替えを行います。

1人だけテーブルに残って、そのテーブルで話し合ったことを伝える人
(テーブル・ホスト)

他のテーブルに移動して、色々な人と話し合いをする人
(旅人)

ご自分の名札を見て、席替えを始めてください！

10

11

ラウンド2

個別テーマ② 30分

市内において「守っていききたい風情・趣のある場所」はどこですか。

- 「風情、趣のある場所」とは、「心がしみじみする、おだやかになる、感動する場所」をイメージしてください。
- 何故、その場所に「風情、趣」を感じるかについても意見交換してください。

12

12

ラウンド2の進め方

個別テーマの発表

↓

始めに、テーブル・ホストの方が、ラウンド1で話し合った内容を簡単に皆さんに説明してください。その後、テーブル全体で前のラウンドについて簡単に意見交換してください。

その後で、ラウンド2のテーマについて話し合いを始めてください。

13

13

席替えタイム(2回目)

最初のテーブルに戻ってください。

30秒

13

14

休憩中

14

15

ラウンド3の進め方

個別テーマの発表

↓

始めに、テーブル・ホストの方が、ラウンド2で話し合った内容を簡単に皆さんに説明してください。その後、テーブル全体で前のラウンドについて簡単に意見交換してください。

その後で、ラウンド3のテーマについて話し合いを始めてください。

15

16

ラウンド3

個別テーマ③ 30分

ラウンド1、2で話し合ったこと、ものを守って行くには、どのような取り組みが必要だと思いますか。

- 守るべきものは何でしょう。(人々の活動？場所？両方？)
- それを守っていくのは誰でしょう。
- 「どのように(手法、気構え等)」守っていきますか。

16

17

まとめ

10分

ラウンド1~3を行ってみて、
印象に残った内容や、いいなと思った内容を
他のグループと共有するため、まとめを行ってください。

- 発表者を1人決めてください。
- 発表内容は、全員の意見を1つにまとめる必要はありません。
- 今日の話し合いでどんな意見が出たか、グループ毎にいくつか挙げられるよう、準備してください。



17

18

グループ発表

ラウンド1~3を行ってみて、
印象に残った内容や、いいなと思った内容を
他のグループと共有します。

各グループ5分程度でお願いします。

18

編集・発行／鎌倉市歴史まちづくり推進担当

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

電話 (0467) 61-3849

Eメール rekimachi@city.kamakura.kanagawa.jp